

美術映画鑑賞講座

印象派の時代と巨匠たちの実像に迫る
映画鑑賞とギャラリートーク

「ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで」展に関連して印象派の時代の巨匠達、セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャン、ルノワールの実情に迫る、4本の映画が一挙公開されました。

その内の1本の「ゴーギャン タヒチ、楽園への旅」では5月13日(日)9時30分～12時20分

橋本恵理学芸員がフォーラムに出張

映画鑑賞とギャラリートークを3時間の長時間に渡り持ちました。

また、阿部泰宏フォーラム支配人が1895年～1905年リュミエール兄弟制作映画の紹介と解説をしてくださいました。

一般の方々も共に鑑賞講座を楽しんでくださいました。

9月に「祈り」3部作の映画鑑賞作品をチラシで紹介しました。

アート・チャリティ・バザー

美術館エントランスホール

2018年12月2日(日)

今年も年末恒例、アート・チャリティバザーが12月2日(日)佐藤玄々展にあわせて開催されました。今回も開始前から沢山の方々を列をつくりました。会場にはお馴染みのアート・グッズ、図録や美術展のパンフレット、名画のポスターカード等々。中でも珍品はアンティークの手回しオルゴール。今頃は新しいご主人の元でモーツァルトを奏でているかもしれません。そんな楽しい掘り出し物がある友の会バザー。収益金は美術館へのハンドマイクとスピーカー寄贈に使わせていただきました。ご協力ありがとうございました。

(アートチャリティバザー担当 齋藤格)



研修旅行

「岩手県立美術館 ブルーノ・ムナリ展」と
「宮沢賢治記念館」への旅

2018年10月13日(土)

酒井名誉館長・早川館長様にご同行いただき、44名

で出かけました。

「岩手県立美術館」では、イタリアの画家・彫刻家・デザイナー等として幅広く活躍した「ブルーノ・ムナリ展」を鑑賞しました。生涯子どもの心を持ち続けたというムナリ。『役に立たない機械』『読めない絵本』『折りたたみのできる彫刻』等、遊び心いっぱいの作品を、存分に楽しみました。

常設展では岩手県ゆかりの作家、萬鉄五郎・松本竣介・舟越保武等の作品に感動を受けると共に、各々の交流・交友関係等も知ることができました。

昼食は「東屋(あづまや)大手先店」で、特製会席ランチをおいしくいただき、その後は、それぞれ、「深沢紅子・野の花美術館」に行ったり、趣ある「北ホテル」でコーヒーを飲んだり、「カワトク壱番館」でお土産を調達したりと、お好みの時間を過ごしました。

花巻市の「宮沢賢治記念館」では、賢治直筆の原稿や愛用したチェロ・資料・映像による作品等を鑑賞し、隣接する「山猫軒」では、賢治の作品をモチーフとした飾り物・カード・お菓子等、オリジナルグッズを買い求めました。

さわやかな秋の日、今年も友の会らしい充実した楽しい旅行でした。

(研修旅行担当 辺見美江子)



美術鑑賞講座

「美術鑑賞講座」

友の会では美術鑑賞講座として、美術館の企画展の開催に合わせて、企画展をより深く鑑賞するために担当学芸員等による講義とギャラリートークなどを開催しています。

今年度は、12月9日に「佐藤玄々展」の美術鑑賞講座を開催し、約20名の皆様に参加しました。

佐藤玄々は、大正から昭和の戦後にかけて活躍した本県相馬市出身の彫刻家で、福島県立美術館では12年ぶりの大規模な回顧展だそうです。講座では玄々を20年以上にわたり研究している増淵境子学芸員にギャラリートークをしていただきながら解説いただきました。増淵さんは、今回の企画展にあたり玄々が学んだパリのブルデル美術館も訪れるなど思い入れも深く玄々のエピソードや作品の魅力など興味深いお話をお伺いすることができました。

(美術鑑賞講座担当 貝沼幹夫)



ミュージアム・コンサート

春のミュージアムコンサート

2019年3月3日(日)

今年も雛祭りの日に春のミュージアムコンサートが開催されました。

今回は福島に縁のある、チェリストの齊藤 静さん、ピアノ富田一夫さん、ベース中川英治さんをお迎えして、200人を越える観客の皆さんを魅了しました。

しっとりとしたクラシックの名曲、バッハの無伴奏チェロ組曲・シチリアーナ・カッチーニのアヴェ・マリアをはじめ映画音楽からはシネマバラダイス・酒とバラの日々等。そして最後は祈るようなカザルスの(鳥の歌)。心に沁みするような音色が、春のやさしい光と共に、ホールいっぱいひろがってゆきました。

美術館、美術館協会の、友の会の共催となるミュージアムコンサートも今回で16回を迎えました。これからも観て!聴いて!更に美術館を身近に感じて頂きたいと思っております。

(ミュージアム・コンサート担当 関根裕子/石川春美)



実技講座

2018年度友の会
会員のための
実技講座報告

日時 2018年10月20日(土)
10:00～15:30

場所 美術館実習室

参加者 9名

講師 大北孝(福島県立美術館主任学芸員)



数々ある版画の技法の中で、今回はドライポイントの技法を体験しました。版材をニードルで直接彫り、溝にインクを入れて紙に移しとります。ニードルでつくった細い線にインクが入るので繊細な表現が可能です。大北学芸員のご指導のもと参加者は思い思いの作品を。プレス機から作品が出てくる時のドキドキが新鮮でした。

(実技担当 佐藤みどり)